



平成 25 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 日本コンベヤ株式会社
代表者名 代表取締役社長 西尾佳純
(コード番号 6375 東証・大証第 1 部)
問合せ先 取締役管理本部長 石田稔夫
(TEL : 072-872-2151)

平成 25 年 3 月期 決算短信発表の延期及びその理由に関するお知らせ

当社は、本日予定しておりました「平成 25 年 3 月期 決算短信」の開示を延期することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

株主の皆様、お取引先様及び投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしますことを、深くお詫び申し上げます。

記

1. 発表延期の理由について

当社は、椿本興業株式会社（以下「椿本興業」という）が平成 25 年 3 月 18 日付で開示しました「当社従業員による不正行為について」に関して、椿本興業担当取締役から不正行為が疑われる取引の一部に当社との取引が含まれているとの連絡を受けました。これを受けて、当社は、椿本興業との取引の実態解明のため、社外監査役（弁護士、会計士）を含めた社内調査委員会（委員長：当社代表取締役社長 西尾佳純）を設置し、調査を進めております。

現在までに、椿本興業と当社による一部取引（以下「当該取引」という）について、当社の関係者の証言や関係エビデンスの調査により事実確認を行いました。その結果、当社が保有していた資料においては当該取引が架空取引であったことを示す資料は見つかりませんでした。椿本興業のプレス発表（平成 25 年 3 月 18 日）以前に、当該取引に架空取引が含まれている可能性のあることを認識していた者もいませんでした。約定通り入金されており、資金的な裏付けもありました。取引形態、関係書類状況から、椿本興業の正規業務手続きと書類にもとづいた正規取引と認識して事業展開し、契約の取引は有効であると判断します。

上記のとおり、当社は当該取引が不正取引であると発覚するまで当該取引を正規取引と認識していたものであり、当社は不正取引に巻き込まれた善意の第三者であると認識していますが、取引金額も考慮すると、会計決算上は現物を確認できない点において保守的観点から決算処理をする必要があると判断しました。

但し、椿本興業の調査委員会ならびに第三者委員会による同社社員の不正行為についての報告書（平成 25 年 5 月 8 日発表）を参照し調査を継続しております。椿本興業の平成 25 年

5月8日の調査報告結果発表からの期間が短く、監査法人との情報共有、認識のすりあわせを十分行いながら、連結財務諸表に与える影響、信頼性の向上を期して、適切な決算数値の確定作業をするのに時間を要するため、決算発表を延期するものです。なお、調査委員会の調査結果の詳細につきましては調査報告書受領後、開示させていただきます。

2. 発表予定時期について

現在、監査法人と協議の上、決算作業を慎重に行っておりますが、平成25年3月期決算短信発表につきましては、予定しておりました平成25年5月15日から延期することとし、平成25年5月30日を目途に開示を行う予定です。

以上